

都市計画の変更原案に対する意見と市の考え方

1. 都市計画の変更原案説明公聴会 日時：令和2年10月11日（日）14時から15時
場所：本庄市役所6階 大会議室
2. 意見等の受付人数：1人 1件
3. 口述された意見および市の考え方

	口述された意見	口述された意見に対する市の考え方
①	<p>東富田・久下塚地区では町中を除いて、50年も100年も農家として米や麦、酪農・野菜・養蚕を行う方が主でした。どこの家も農業として生計を立てるため、乾燥機のない時代に天日干しができるよう、境界一杯に物置等を建て、出来るだけ庭を広くしたものです。</p> <p>そして東西の中通り線を中心に南北に家が並び、リヤカーや耕耘機の時代でしたので、2～3m程の細い道路が多く、その農家も後継者不足となり、私の実家は15年以上廃屋となっています。</p> <p>そういった所へ、新たに会社勤めの人達が住むようになり、開発も進んでいます。本庄早稲田駅周辺地区は、何もない土地へカインズをはじめとする店舗や、土地区画整理事業により移転した家を建てる事でキレイな図面が描けたと思います。</p> <p>今後、農業によって生計を立てるには、まず、後継者がいること、そしてネギやキュウリ等、特徴のある生産方法が必要でしょう。し</p>	<p>ご意見のとおり、本地区のような古くからある集落地においては、市街化の進捗に伴う様々な課題があることは認識しております。そのような課題があることを念頭に、今後、地元の皆様からご意見をいただきながら一緒にまちづくりを進めてまいります。</p>

かし、特定の個人の話ではありませんが、ネギの皮を剥くコンプレッサーの音や畜産による影響等、農家以外の人達との共存を如何に図っていくかが問われると思います。

農家の今後について、10年・20年先は読めませんが、行政の出番は益々重要になると思います。

余談ですが、田んぼの中にコンビニが出来た事による利便さの向上の半面、利用者が捨てた瓶や缶、レシートが田んぼの耕作者を悩ませています。これは、コンビニが出来たことによる新たな軋轢となっています。

最後に今回の方向性に賛否両論あると思いますが、賛同できるものは賛同し、個人の考えを通すものは通すという考え方でいます。「地域の特性にふさわしい良好な都市環境の維持形成を図る」との理念に向け、取り組んで来られました関係者に敬意を表します。